

貧酸素水塊速報 (2007年)

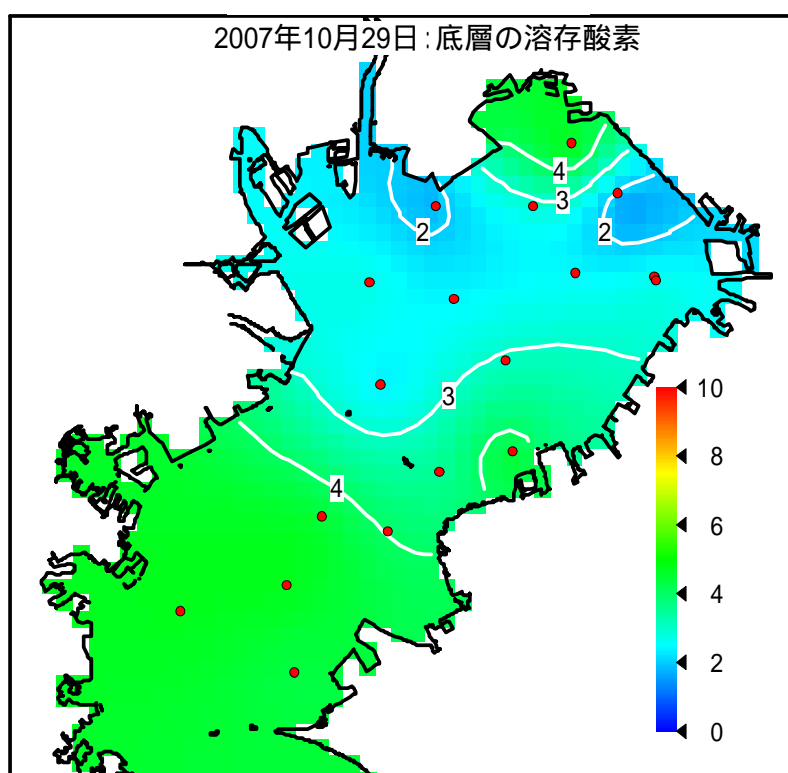
千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

底層の貧酸素水塊は規模が小さくなり、浦安および幕張地先を除くと溶存酸素量は2.0ml/L以上でした。

赤潮は認められませんでした。アクアライン以南では、海面の水色が緑青で透明度は8~12mに達していました。

表層の水温は先週とほぼ同じ20 前後でした。



底層の溶存酸素量分布(ml/L:速報値)
 平成19年10月29日観測分

| 酸素飽和度と溶存酸素量の目安 | | |
|----------------|---------|-------|
| 酸素飽和度 | 溶存酸素量 | 備考 |
| 50% | 2.5ml/L | 貧酸素水 |
| 30~40% | 2.0ml/L | 魚類に影響 |
| | 1.5ml/L | 貝類危険 |
| 10% | 1.0ml/L | |
| | 0.5ml/L | |

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ